

2018年5月11日

各位

株式会社 栗本鐵工所

次世代風力発電機用の円筒翼および円筒翼ユニットの製造に関して
株式会社チャレナジーと共同開発契約を締結

株式会社栗本鐵工所(本社:大阪市西区、代表取締役社長:串田守可、以下「当社」)は、この度、次世代風力発電機「垂直軸型マグナス式風力発電機」(以下「マグナス風車」)を開発する株式会社チャレナジー(本社:東京都墨田区、代表取締役:清水敦史、以下「チャレナジー」)と、マグナス風車の主要部材である円筒翼および円筒翼ユニットの製造を共同で開発することについて合意し、共同開発契約を締結いたしました。

チャレナジーが開発するマグナス風車は、従来のプロペラ式と異なりプロペラの代わりに円筒翼を用いることで、台風などの強風下でも発電しつづけることができることを最大の特徴としております。一方、当社化成品事業部では、軽量かつ高強度な円筒型 FRP 製品の成形、加工技術を強みとして保有しております。

マグナス風車で使用する円筒翼には、軽量かつ高強度な材料が求められるため、2016年8月よりチャレナジーが沖縄県南城市で実証実験を行っている定格出力 1kW の試験機の円筒翼に、当社が開発・製造した薄肉 GFRP パイプを採用していただきました。また、現在チャレナジーが開発中の 10kW 量産機の円筒翼にも、当社の薄肉 GFRP パイプを採用していただき、実寸大の円筒翼(直径 1m、長さ 10m)の試作と回転試験を実施する等、共同して試作ならびに評価試験を進めてまいりました。

この度、より一層強固な関係を構築し、共同開発していくことについて両社が合意するに至り、共同開発契約を締結いたしました。本契約の締結により、軽量かつ高強度な円筒翼を低コストで製造するノウハウ獲得等の技術革新に向けて、円筒翼の試作や強度試験等を実施してまいります。

当社は、本共同開発が新分野での需要につながる有望な案件として捉えるとともに、これまで培ってきた独自成形技術を更に進化させるチャンスと捉え、チャレナジーが 2020 年に 10kW 量産機の上市を目指すことに対して協力し、当社化成品事業部の新たな事業展開を推進してまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ
株式会社 栗本鐵工所 化成品事業部
電話 06-6538-7701

